MITSUBA

Guardog
VISE GUARD II
grip & brake lock device for motorcycles

ガードッグ・バイスガードII

with ALARM

取扱説明書

品番:BS−003

株式会社 ミツバサンコーワ

〒175-0094 東京都板橋区成増3-3-4
http://www.mskw.co.jp/

技術的なお問い合わせ窓口
株式会社ミツバサンコーワ 技術サービス
〒376−0102
群馬県みどり市大間々町桐原３５４６−１
☎ 0277-72-4588

N-002-034-A

このたびは、ミツバ「ガードッグ・バイスガードII」をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
この取扱説明書は、商品の正しい使い方、使用上の注意について記載しております。
本書を最後まで必ずお読み頂き、商品を正しくお使いください。また、本書が必要になったとき
すぐに利用出来るように大切に保管してください。

1 注意事項

ここには、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告
取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定されることを意味します。

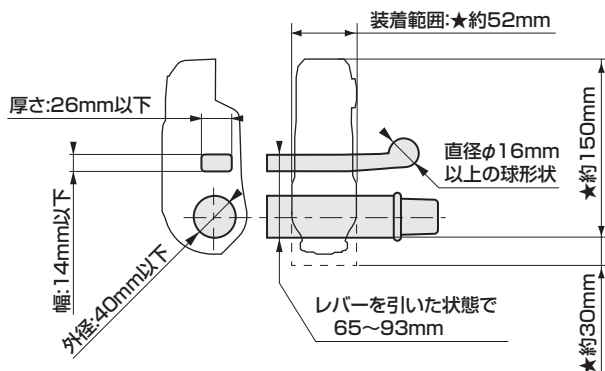
- 本品を装着したまま絶対に走行しないでください。装着したまま走行した場合、重大な事故の原因となります。
- 走行時、本品をハンドルやミラー等にぶらさげないでください。ハンドルをとられて転倒する恐れがあります。また、走行中に落下させると重大な事故の原因となります。確実に収納してから走行してください。
- 電池交換の際、交換した電池は幼児の手の届かないところにおいて早めに処分してください。万一飲み込んでしまった場合には、すぐに医師に相談してください。
- 本品の警報を耳のそばで作動させたり、長時間の試聴はしないでください。耳に障害を与える恐れがあります。

⚠ 注意
取り扱いを誤った場合、傷害を負う危険性が想定されることを意味します。また、物的損害が発生する恐れがあることを意味します。

- 本品は車両のグリップとブレーキレバーをロックし、傾斜変化を感知し警報を発することで盗難やいたずら等を抑止するものであり、完全に防止するものではありません。本品を装着した車両が万一盗難やいたずら等の被害に遭われましても、本品の正常、異常にかかわらず、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本品をワイヤー式ブレーキ車には使用しないでください。ブレーキワイヤーが伸びる恐れがあります。
- 適合条件に適合する車両にお使いください。無理に装着しないでください。本品及び車両の故障の原因となります。
- 本品は、必ずトップカバーが上になるように装着してください。故障の原因となります。
- 本品のキーをキーホルダに取り付ける際は、必ず付属のキーリングか同等以下のサイズのリングを使用した上で取り付けてください。直接、大きなリングや太いリングに取り付けた場合、キーのリングホールが破損する恐れがあります。
- 本品の分解、改造は絶対におこなわないでください。また、本品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 本品の不具合については、当社製造上の欠陥を除き責任を負いかねますので、取り扱いに十分ご注意ください。

適合条件
下記の条件に該当する車両にご使用頂けます。

①油圧式ブレーキの車両。
②ブレーキレバー端部が直径φ16mm以上の球形状の車両。
③下図の装着範囲内でレバーとグリップが以下の条件を満足する車両。
- レバーの形状がほぼストレートで、幅:14mm以下、厚さ:26mm以下であること。
- グリップの外径が40mm以下であること。
- レバーを引いた状態でグリップとの距離が65〜93mmであること。

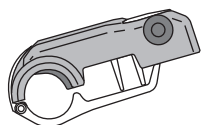
④レバーとグリップ周辺に、右図の★印寸法のスペースが確保出来る車両。
※ハンドルを左右にロックするまで切った状態で確認してください。

キーの紛失に備えて

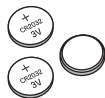
キーは紛失した場合に備え、1つをスペアとして別に保管することをお奨めします。

万一、キーを紛失してしまった場合には、本品をお買い求め頂いた販売店様にてキー刻印番号を添えてご注文ください。

キー刻印番号が不明な場合には、スペアキーのご購入は出来ませんので、必ずご使用頂く前に、下の記入欄と保証書の記入欄に控えておいてください。

キー刻印番号					

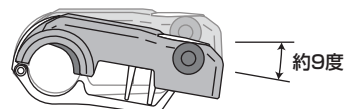
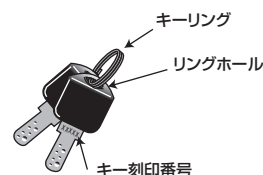
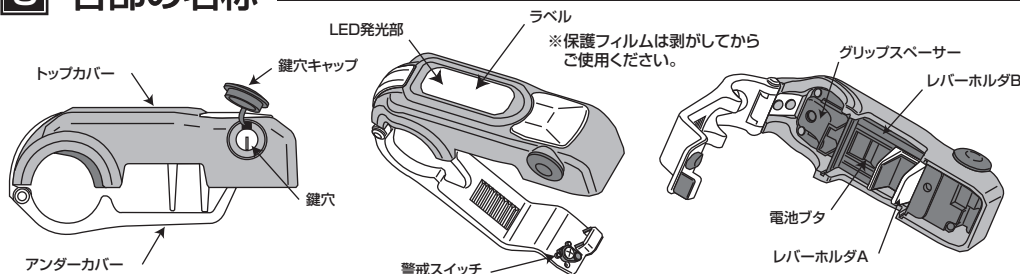
2 セット内容・主な仕様

バイスガードII本体

キー(ディンプルキー)

※付属の電池はテスト用のため寿命が短い場合があります。

テスト用電池(CR2032)×3個

主な仕様	
本体重量	500g
動作温度範囲	−10〜50℃ (電池の性能・残量により変動します)
保存温度範囲	−30〜70℃
使用電池	CR2032 センサー用(2個)、ブザー用(1個)
警報音圧レベル	近接:110dB（85dB／m）
電池寿命 (20℃の場合)	センサー用電池 1日8時間警戒 :約8ヶ月 ブザー用電池 警報回数 :約1000回

【参考】警報にいたる傾斜変化

本品は、三次元的で複雑な傾斜変化を感知出来るように高精度な傾斜センサーを採用しております。
警報にいたる傾斜変化の目安としては、前後・左右のみの単純な傾斜変化の場合は、約9度を超える傾斜変化が続いた場合に警報する設定となっています。

3 各部の名称

※キーをキーホルダに取り付ける際は、必ず付属のキーリングか同等以下のサイズのリングを使用した上で取り付けてください。大きなリングや太いリングに直接取り付けた場合、リングホールが破損する恐れがあります。

調査及び修理をご依頼の前に

- ●調査及び修理をご希望される場合には、お買い上げの販売店様または弊社技術サービスまでご相談ください。
- ●不具合の内容によっては保証対象外となる場合があります。保証範囲について下記の保証規定をご確認ください。
- ●調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となります。あらかじめご了承ください。
- ●弊社では商品の調査時の代品等の貸し出しは一切おこなっておりません。

＜＜保証規定＞＞

保証範囲や条件など詳しい内容について説明します。必ずお読みください。

お買い上げ頂きました本品は、弊社の厳しい品質管理のもとで製造されたものです。万一、製造上の不具合がありました場合には、本保証書に示す条件に従って無償で修理・交換させて頂きます。

修理の際は、バイスガードII本体とキーに本保証書と不具合内容を記入したメモを添えてお買い上げの販売店様にご依頼ください。

- ●この保証書は、保証期間が満了したときに効力を失うものとします。また保証期間内であっても商品が日本国外に持ち出されたときは効力を失うものとします。(This warranty is valid only in japan.)
- ●この保証書は、破損または紛失した場合でも再発行は致しません。大切に保管してください。
- ●次に該当する場合は、保証期間内であっても無償修理の対象となりません。ご注意ください。
  - ①本品を分解・改造した形跡が認められた場合。(本品のシール類を剥がした場合も含む)
  - ②お客様または第三者の故意または過失による故障と認められた場合。
  - ③地震・台風・水害などの天災ならびに火災・事故・その他紛争などによる損傷が認められた場合。
  - ④電池の不具合(消耗、液漏れ、破裂等)に起因する故障と認められた場合。
  - ⑤取扱説明書に記載されている諸事項が守られなかったために不具合が発生した場合。
  - ⑥保証書の提示がないか、あるいは記載事項の不足、文字の書き換えが認められた場合。
  - ⑦販売店様の押印またはレシートが無い場合。

キリトリセン

4 機能の詳細

誤作動防止機能

本品は、傾斜角度の変化量と変化時間を感知し、独自のアルゴリズムで解析して警報します。
誤作動防止のため、瞬間的な振動や衝撃では警報しないようになっています。また、車体の傾きやハンドルの角度が大きく変化しても、本品の傾斜角度変化が少ないと警報出来ない場合もあります。

自動警戒復帰機能

異常を感知して警報(約15秒間)した場合、警報終了後の傾斜角度を再度解析・記憶(約8秒間)してから自動的に警戒状態に復帰します。傾斜角度の解析・記憶に要する時間は、周囲の環境により、長くなる場合があります。(特に低温時や振動が加わっている場合など)

電池消耗軽減機能

警報動作が長時間となった場合には、電池消耗を軽減するため、LED威嚇点滅の間隔を自動で変更します。
1. 施錠後8時間まで　：　約2.5秒間隔で点滅
2. 施錠後8時間経過後　：　約5秒間隔で点滅

電池消耗警告機能

ブザー用電池(1個)　：　警戒スイッチをONにして施錠したときのアラーム音が小さくなっていたり、鳴らない場合には、ブザー用電池(1個)が消耗しています。

センサー用電池(2個)：　警戒スイッチをONにして施錠したときに、LEDが約10秒間点滅し続けた場合には、センサー用の電池(2個)が消耗しています。

電池消耗警告があった場合には、警告のあった電池を早めに新しい電池と交換してください。
長期間使用する場合は、定期的に施錠しなおし、電池消耗警告を確認してください。

誤動作保護機能

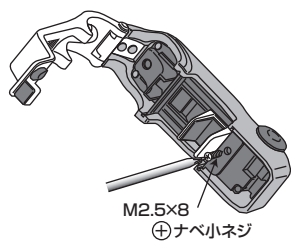
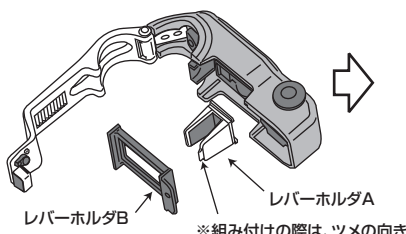
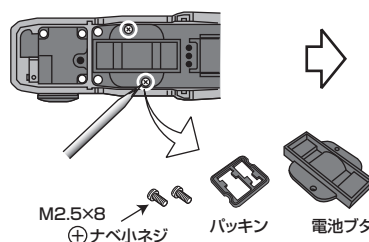
以下の場合、警報途中で警報を停止したり、警戒を解除することがあります。
①電池が消耗している場合。
②低温時に警報した場合。(低温時には、新品の電池でも電池の特性上、一時的に電圧が大きく低下します)
これは電池消耗時の誤動作を防止する保護回路が作動したためであり、故障ではありません。

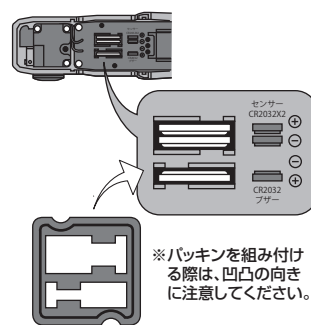
5 ご使用前の準備

電池のセット・交換

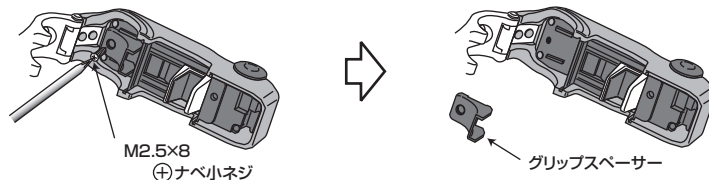
●本品を初めてご使用頂く際は、下記の手順に従い、電池をセットしてください。
※付属の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。早めに新品の電池と交換してください。

⚠注意
- ・センサー用の2個の電池は、古い電池と新しい電池の組み合わせやメーカー、型式の異なる電池を組み合わせて使用しないでください。
- ・電池交換の際は、部品を紛失しないよう注意してください。
- ・本品を長期間使用しない場合は、電池を抜いて保管してください。

①下図のネジ(1ヶ所)を+ドライバーで取り外してください。

②レバーホルダA・Bを引き出してください。

③電池ブタのネジ(2ヶ所)を外し、電池ブタとパッキンを取り外してください。

④⊕⊖の向きに注意し、電池3個をセットしてください。

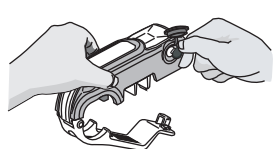
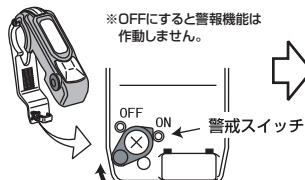
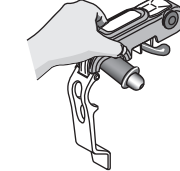
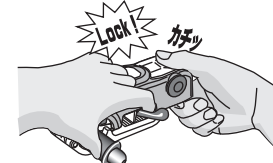
※パッキンを組み付ける際は、凹凸の向きに注意してください。

●電池挿入後は、逆の手順で各パーツを組み付けてください。
特に、パッキン、レバーホルダA の向きに注意して確実に組み付けてください。誤った組み付けは、商品の故障の原因となります。
【 M2.5×8⊕ナベ小ネジの推奨締め付けトルク：0.36N・m 】 ※ネジの破損の原因となりますので、締め過ぎにご注意ください。

グリップホルダ部の調整

●車両のグリップ外径がφ35mmを超える場合はグリップスペーサーを取り外してご使用ください。

6 使用方法

⚠注意
ご使用頂く前には、必ず、キー操作や施錠・開錠が確実に出来ることを確認してください。
作動しにくい場合には、鍵穴や可動部に潤滑剤を適量、注入してください。
また、定期的(三ヶ月に一度)に防錆効果のある潤滑剤を鍵穴や可動部に適量、注入してください。

施錠手順

①鍵穴キャップを開けて、キーを右に回しアンダーカバーを開いてください。

②警戒スイッチをONにしてください。

③本体をグリップとレバーに被せてください。

④レバーを引きながらアンダーカバーを閉じればロック(施錠)完了です。

⑤ロックしてから約1秒後にLEDとアラームが1回作動し、システムの起動開始をお知らせします。次に、その状態での傾斜角度を解析・記憶しますので、バイク及び本品を動かさないでください。

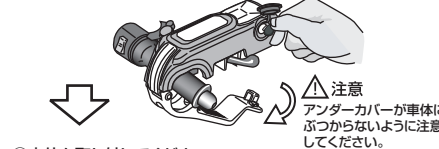
約20秒後、正常に起動・解析・記憶が完了するとLEDが点滅して警戒を開始します。

警戒中に傾斜変化を感知すると、アラームとLEDの点滅で、約15秒間警報します。

警報終了後は、再度傾斜角度を解析・記憶(約8秒間)してから警戒状態に戻ります。

⚠注意
- ・システム起動時に、アラーム音が小さくなっていたり、鳴らない場合、LEDが約10秒間点滅した場合は電池消耗の警告です。早めに新しい電池と交換してください。(詳細については、『4 機能の詳細』を参照してください。)
- ・システムの起動、傾斜角度の解析・記憶に要する時間(約20秒間)は、周囲の環境により、長くなる場合があります。(特に低温時や振動が加わっている場合など)

開錠手順

①キーを右に回し、アンダーカバーを開いてください。

②本体を取り外してください。

③警戒スイッチをOFFにしてください。